保護者・生徒用

愛ことば

～安倉中愛　友よ～

宝塚市立安倉中学校
校長だより
2024(令和6)年
5月16日(木)
第５号

みんなみんな生きているんだ友だちなんだ

ぼくらはみんな生きている ～そーっと大切に～

安倉中学校には、たくさんの植物・花・生き物が育っています。校舎周りには１年中事務室の先生が育ててくれている季節の花々が咲いています。職員室前ではメダカとザリガニ、ポトスやオリヅルランがにぎやかです。職員玄関や廊下には茶華道部の生け花や若本先生の育てた切り花も飾っていただくこともあります。６組にはランチュウもいます。この連休中には職員室前のザリガニの１匹が脱皮していました。(脱皮後の殻は全てきれいに食べてしまうのですよ。)昨年はカブトムシやクワガタムシも仲間入りしていました。(例年私の自宅近くで採取してきます。今年もお見せできるといいのですが…)

虫などの苦手な人には特に申し訳ない気持ちもあります。また、苦手でなくても、いい気持ちでないこともあるかもしれません。そこの所は広い心で無視して通ってください。ちょっとだけ覗く挑戦もいいかもしれません。

それらの多くは、特にかわったものでもなく、わざわざ足を止めて見るほどでもないものがほとんどです。これらの生き物や植物は、めずらしいとか、かわいいという理由で育てているというよりも、全校生の中で生き物や植物を育てることのできる環境を守っていくことが大切だという想いから育てているものです。

ちょっとかっこよすぎるでしょうか。でも実際のところ、心ないいたずらが１度でもあると生き物は死んでしまい、また、植物も誰からも気にされることがないとそのうち枯れてしまいます。安倉中では、ここ何年間も生き物が生き続け、植物も枯れずにいます。これは、いつも誰かが気にしてくれており、誰もいたずらなんてする人がいないからです。これからも安倉中では、そんなちょっとした環境を大切にしていきたいと考えています。掲示物や写真などへのいたずらがないのも同じく大切なことであり、素晴らしいことです。全校生でそんな環境をこれからも守っていきたいと考えています。

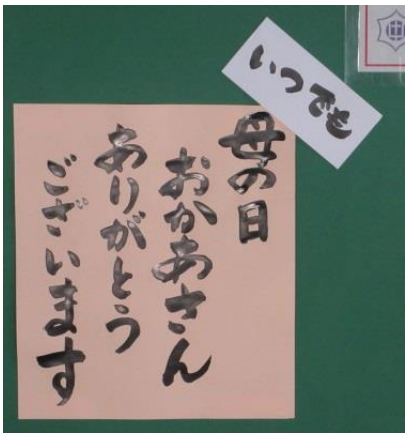
前置きが長くなりました。今日の本題はこれからです。職員室前のいきものコーナーに新しい仲間が増えているのに気がつきましたか？

その仲間は、『アンパンマン』でおなじみの**やなせたかし**さんの作詞した歌『手のひらを太陽に』にも歌われている虫です。「♪ぼくらはみんな生きている～」で始まるＡＲＥ？です。「ミミズだって～、□□□だって～、アメンボだって～」の□□□です。答えは「オケラ」です。安倉中の畑の中で見つけた仲間です。飼育ケースをそーっと持ち上げて底から覗(のぞ)くと運が良ければ地下トンネルを歩くオケラの姿が見られます。さらに運が良ければ外に出ているオケラを見ることもあります。興味ある人は覗いてみてください。ゲージを持ち上げる時は必ず両手で「そーっと」でお願いします。(小さいゲージの方がいいかも)

職員室前のオケラ

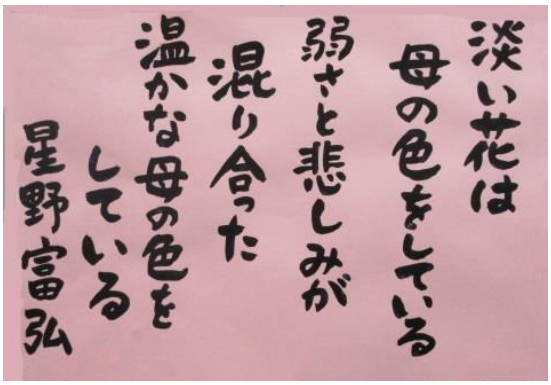
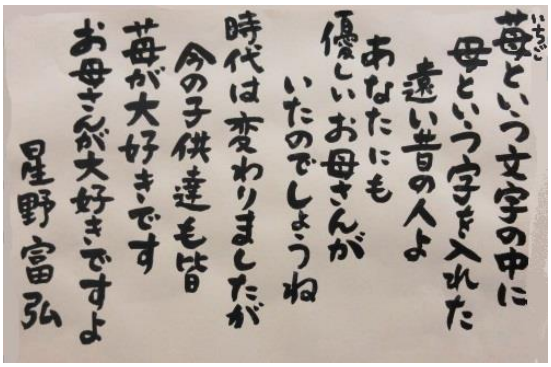
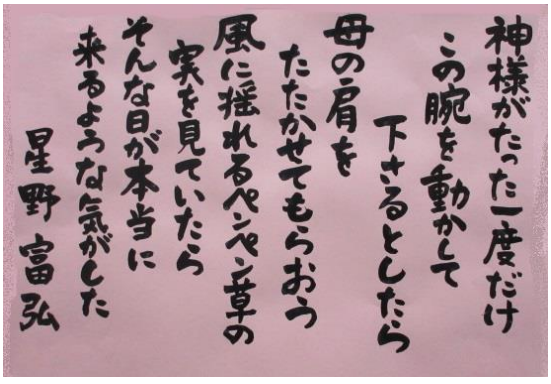
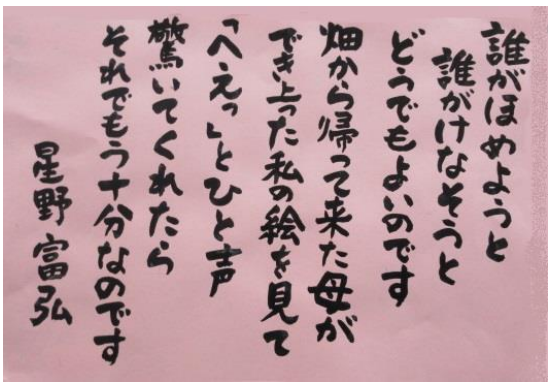
いきものが大切にされる安倉中の今の環境をこれからも皆の力で「そーっと」大切に育(はぐく)んでいきましょう。

お母さんありがとうございます ～母の日によせて～



先週１２日の日曜日は、母の日でした。安倉中の皆さんはお母さんに日頃の感謝を伝えることができたでしょうか。

そういう私ですが、中学生の頃にはあまり母の日に何かをしたり感謝を伝えたという記憶がなく、当時の自分自身に「もうちょっとしっかりせんかい！」と言いたいところです。家族に対してきちんと感謝を伝えたりできたのは高校を卒業して実家を出てからだったでしょうか。だからこそ、今、安倉中の皆さんの中で親御さんや他の人たちにきちんと感謝を伝えられる人を見ると本当に立派だなと思います。安倉中生の素敵なところです。これからもどんどん伸ばしていってください。

お母さんへの言葉で思い出されるのが、先月７８歳で亡くなられた星野富弘（ほしのとみひろ）さんの詩画です。星野さんは、元中学校の体育の教師で部活動の器械体操（跳び箱）の指導中の事故で肩から下が全て麻痺（まひ）となり、動かなくなった手の代わりに口で筆を加えて多くの詩画を残された方です。優しい愛に満ちた絵や詩は多くの人の心を動かすもので、群馬県みどり市、熊本県芦北町にはそれぞれ「富弘美術館」「星野富弘美術館」があり、毎年多くの来館者が訪れています。

著作権に配慮して星野さんの詩画のそのままでの掲載はしませんが、校内掲示用に書いたお母さんへの詩をいくつか掲載させていただきます。図書室にも星野さんの本が置いてありますので、良ければ手に取って見てください。